

平成19年度事業報告書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

特定非営利活動法人 沖縄県ダイビング安全対策協議会

1 事業の成果

前年度に引き続き日本財団助成事業による離島での危機管理啓発事業を継続するが、7月いっぱいまでさまざまな根回しをして事業完遂に務めるものの、結局予定の50%ほどしか完了できず、助成金の約半分を返還するという不本意な結果になってしまった。しかしながら地域によっては種を蒔いたのではないかと評価する。今後安対協と行動をともにできる事業所が増えることに期待したい。また環境関係では建設共済会、沖縄県労働金庫の助成を拝領し事業展開を行うが、予定していた事業の多くが悪天候による中止を余儀なくされ、建設共済会助成事業にいたってはまるまる新年度へ事業継続となった。また日本財団助成事業に忙殺され、沖縄本島地区での事業が手薄になってしまったことが最大の反省材料でもある。新規事業所会員獲得については已然難航しており、さらなる業界の意識改革、危機管理意識の啓発活動が求められるとともに、今後は視点を変えて、ユーザーである一般B会員やフリーのインストラクターなどの一般A会員の会員増員を考えるべであるかもしれない。そのためには会員としてのメリットを明確にしてPRする必要があると思われる。また会費の負担減も検討の余地があるところである。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業員の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
各種ワークショップ、講習会、訓練等の開催	第十一管区海上保安本部合同ダイビング事故対策訓練	4月25日	西表島	受講者延40名、講師延2名事務局員述2名ほか	不特定多数のマリンレジャー一般消費者	66
		6月29日	ケラマ海域			
	ボートダイビングWS	1回	本島中部	受講者20名講師1名事務1名	不特定多数のマリンレジャー一般消費者	15
	CPR/AED講習会	1回	小浜島	受講生17名	不特定多数のマリンレジャー一般消費者	15
	救急酸素供給者講習	5回	本島、小浜島、西表島	受講者延20名講師述4名事務4名	不特定多数のマリンレジャー一般消費者	422
	各種ワークショップ	2回	本島中部	受講者延80名講師7名事務7名	不特定多数のマリンレジャー一般消費者	83
日本財団助成事業	延20日	4地区(座間味・阿嘉・西表・石垣島)	受講者延83名	不特定多数のマリンレジャー一般消費者	2652	
安全グッズ、救急酸素キット等の企画、普及及び販売	RS-4の普及販売	通年	事務局	1名	不特定多数のマリンレジャー一般消費者	267
海域の利用を円滑にするための事業	安対協旗、ステッカーの販売、頒布	通年	事務局	1名	不特定多数のマリンレジャー一般消費者	0
水中環境の保全事業	サンゴ食害生物駆除、釣糸撤去等	通年	本当各地	作業ダイバー延80名、ほか管理者、事務局員	不特定多数のマリンレジャー一般消費者	522

(1) 特定非営利活動に係る事業

本年度該当事業なし